

木目調タイルの特徴と貼り方

該当品番：

19-120-WD / 19-120-WL / 19-120-WN

木目調タイルの特徴

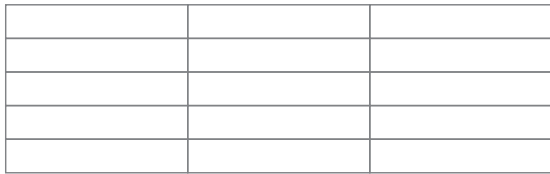
天然木と見分けがつかないほどの見た目と、磁器質製によるメンテナンス性の高さが特徴的なタイルです。通常の磁器質タイルと同様に、目地材を床暖房可能なもので施工いただければ床暖房にも対応しております。当社の木目調タイル（2017年1月現在の商品ラインナップ）は、木目模様のパターンが全8種で構成されており、それぞれの木目の特徴が表現されるようになっております。

※1箱内に同じ木目模様のパターンが同梱されていることもございます。同じ木目模様を並べて貼ると、本来の木目調タイルの美観を損ねてしまいます。タイルを貼る前に必ず同じ木目模様が並ばないように、別のタイルを選択するか、天地逆に貼り付けるようにご対応ください。

木目調タイルの貼り方

以下のような貼り方がございます。空間に適した貼り方をご検討ください。

※目地幅は、最低2mm程度の目地幅を確保し、目地材を充填してください。



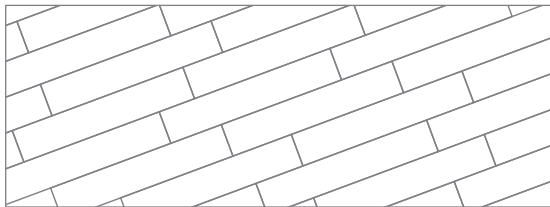
①イモ貼り

タイルを縦横に規則正しく配列した貼り方



②斜め貼り

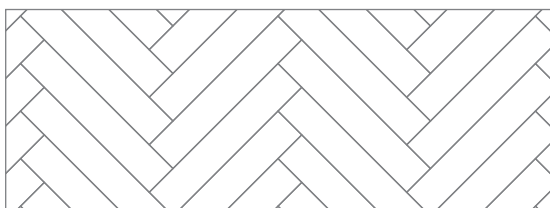
壁に対してタイルを斜めに配置した貼り方



③斜めランダム貼り / ランダム貼り

壁に対してタイルを斜めにランダム配置した貼り方

※ランダム配列をする場合、目地のずらし幅300mm以下を推奨。
詳しくは別資料【木目調タイル 施工注意事項】をご確認ください。



④ヘリンボーン貼り

フローリングの貼り方として用いられる貼り方

商業施設等の広いスペースでのご使用を推奨しております。